

御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画取組状況をお知らせします！

～地球にやさしいまちづくりを目指して～

御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画については、市役所も消費者や事業者であるという立場から、平成22年8月に計画を策定し、地球温暖化の防止に向けた取り組みを行っています。

このたび、10ヶ年計画の後期の初年度となる平成28年度の実施結果がまとまりましたのでお知らせします。なお、実行計画書については、市のホームページ(市政情報>政策・計画・取組み>その他の計画・施策>御坊市役所地球温暖化対策実行計画)をご覧ください。

◇温室効果ガス総排出量の削減目標

本実行計画の温室効果ガス(温室効果をもたらす大気中に拡散された気体のこと)総排出量の削減目標は、平成32年度までに基準年度の平成22年度より**7%**削減させることです。

◇平成28年度の実績について

計画に基づき、市役所の事務及び事業の実施にあたり、温室効果ガスの主な排出要因である電気及び燃料使用量などの削減を中心とし、各所属において取り組んできました。

平成28年度の温室効果ガス総排出量は、2,469,515kg-CO₂で基準年度の平成22年度と比較すると、165,921kg-CO₂(7.2%)の増加となりました。なお、平成28年度の温室効果ガス総排出量のうち、電気使用量が88.5%と大部分を占めており、使用量自体は基準年度より減少していますが、後期計画から排出係数※を0.496kg-CO₂/KWh(平成27年度実績)に改定したため、温室効果ガス総排出量が増加する結果となりました。

温室効果ガスの総排出量(基準年度との比較)

項目	平成22年度(基準年度)	平成28年度
温室効果ガス総排出量(kg-CO ₂)	2,303,594	2,469,515
うち電気使用量に係る温室効果ガス総排出量	1,980,496	2,184,753
電気の使用量(kwh)	5,578,863	4,404,743
削減率(H22年度比)	—	▲7.2%

※排出係数とは・・・

使用したエネルギーから温室効果ガスを算定するために用いる係数(原単位)で、発電に用いた燃料によって異なり、特に火力発電の場合、排出係数は高くなる。平成28年度は、関西電力(株)の平成27年度実績に基づく排出係数(0.496kg-CO₂/KWh)を採用している。

◇今後の取組みについて

本実行計画の6年目となる平成28年度は、節電や燃料の削減など市役所全体で地球温暖化対策に取り組まましたが、算定する排出係数を改定したため、平成22年度比で7.2%の増加となり目標を達成できませんでした。計画当初と比べるとガソリンや軽油、灯油、プロパンガスなどの燃料の使用量は大幅に削減できており、平成29年度以降も、市役所全体で地球温暖化対策に引き続き取り組んでいきます。また、電気については、基準年度ベースでの削減が難しい状況となっていますが、少しでも目標に近づけるよう、職員一人ひとりが努力するとともに、新たな目標を検討していきます。

市の斎場へのお供え物は持込禁止です！

毎年お盆になると、斎場にお供え物が持ち込まれることがあり、処理に困っています。

斎場は火葬業務を行うところです。お供え物の持ち込みはできませんので、ご理解・ご協力のほどお願いします。

